

祥明大学校語文大学調査報告

日時

2008年2月22日

調査大学について

祥明大学は総合大学であり、5つの大学(学部)からなる。ソウルキャンパスと郊外にある天安キャンパスからなり、それぞれ6000人、合計12000人の学生数を持つ。この調査は語文大学の天安キャンパスについてである。

御回答者氏名等

金 裕千 副教授

1. 貴大学の日本語日本関係学科のカリキュラムの概要を教えてください。

1年次から専門に入るとされているが、1年次は学部で募集して、2年次で専門の語学が決まる。1年1学期の日本語は1コマのみ、専攻が定まる2年次から本格的な勉強となる。専攻の科目は、全体で、基礎(日本語習得)5割 専門科目3割 残りは文化関係(日本の大衆文化・伝統文化)2割となっている。専門科目から文化を切り出したのだが、専門科目は学術的で実用性がないことへの批判からである。文化関係は専門的な科目(古典文法・漢文・語学の難しい分野の科目など)を削ることによって、学生・社会のニーズに合わせた科目である。伝統文化では生け花なども含み、専門学術性をもとめる科目とは言い難い。

140単位のうち専門が60単位(日本語も含む)。日本語能力試験1級合格は3年・4年次の目標となる。

2. カリキュラムの特色はどのような点だとお考えでしょうか。

「実用的」な能力が強調される。話せることと、文化的な幅広い知識を身につけることとが重視されている。

3. 日本語語学科目以外の日本関係科目について、専門科目としての位置付けとともに、日本を専門とする学生の共通の教養的な科目として、どのように運営しているか教えてください。

履修の仕方にもよるが全体の3割から5割。語学習得以外に、語学・文学および他の分野の日本関係の専門科目が配されている。必修科目が多い。必修でも難しい科目がある。

4. 日本語および日本を専門としない学生への日本に関する科目の提供は行われていますか。行われているとすれば、どのように行われているか教えてください。

教養科目として日本語の基礎（語学）、日本文化に関する科目（日本文化の理解・日本文学の基礎など3～4科目）が提供されている。韓国語で講義が行われている。

5. 日本語および日本に関する科目を専攻する学生にとって、日本に関する基本的な教養とはどのようなものとお考えですか。必ずしも現実に実現している範囲に縛られずにお考えをお聞かせください。

歴史社会文化の基礎も習得していること。ごく基礎的なことがしっかりと身についていること。学生がビデオやインターネットを活用して現実にも触れて情報量が多いが、そうして得た情報を体系化させる知識が重要である。

6. 貴大学の学生さんが日本語や日本に関する科目を専攻しようとする動機はどのようなものとお考えですか。どのような動機から学生が日本について関心を持つとお考えですか。

最近の学生は日本関係の文化（アニメ・漫画など）に小さい頃から興味を持っている。高校の第二語学が日本語であるケースも少なくない。特に動機はないが点数で入ってきた学生もいる。より高いレベルの大学へ編入をねらう層もあり、逆に編入してくる学生もある。

7. 日本に関する科目を運営する上で苦勞する点はどのような点でしょうか。例えば、テキストや資料、生の情報など、どのような点からでもかまいません。

教える立場からすると学生の興味の幅が多様化しているのを感じる。さらに、彼らがそれぞれに情報源を持っている。その中で教えることの難しさがある。学生の情報量の差も大きい。日本に関する一般的な情報量は大きいのだが専門情報のキャパシティーは小さい。学生のニーズと教員側の期待との差は大きい。

8. 日本の大学との教育上の連携を想定した場合、どのような可能性が考えられますか。

熊本県立大学と20年近くの交換留学制度・交流制度がある。短期研修への派遣も行っている。熊本からも学生がくる。熊本の日本語教育の教育実習も行っている。学校側の支援が必要。教員の交流は熊本ともできていない。相互の研究誌に論文投稿はで

きる。韓国の大学で外国の学術誌への投稿が奨励されているのでよいチャンスとなる。

9. 日本に留学する学生に対して、日本の大学でどのような教育が行われることを期待されますか。あるいは、学生がどのようなことを学んで帰ることを期待されますか。

学部と大学院で違う。しかし、専門を学んで欲しい。

日本に適応できない学生もいてそれ以前の問題もある。ただし、とけ込まなくても日本を対照化できるような、開かれた教育現場が日本にあればいいと思う。しっかりと学び、さらに日本を対照化する視点を得てきてほしいと思う。日本の大学の中で日本を対照化できる授業があれば助かる。

10. その他

*入試は3種類くらい。農漁村の枠は少数だがある。

*相対評価が当然とされている（成績の割合が決まっている）。

（村尾誠一）